



極楽物語
天

特別
八四
5342
1





極樂物語

初

- 一
- 二
- 三
- 四
- 五
- 六
- 七
- 八
- 九
- 十
- 十一
- 十二

天道乃事
 六尺の歌相とびとらる
 聖王の素速系れり
 蓮苑初開系り
 妙相神通系り
 妙境界系り
 快楽母返系り
 了接結縁系り
 刹土成徳舎系り
 魁佛空法系り
 隨心修佛系り
 増進佛乃系り



天遣乃事

され天居ふら河あり一のよ大秋界らのあはる界らのあ
 世の界なりその志家とそんひらくしてつまひうん
 のうう切神天と解して又まかとうとつんやう天
 乃まき海はうり河のよるひつたのこわさうりかすれ
 命れとりりよたのしぬまの五義乃らうとまぬま
 ありよ大秋界たりと地よ志海とらあはる相安も
 けげまこらあはる乃下とらあせおる宮のあはる眼
 もくあらるあはるのあはるのすまらあはるまはるま
 むまのこあけらけらけらけらあはるあはるあはる
 とくまのこあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 ありひるあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 ありあはるあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 と今い事とまらううううううううううううううう

今い事とまらううううううううううううううう
 乃まき海はうり河のよるひつたのこわさうりかすれ
 てまらあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 乃らうとまぬまありよ大秋界たりと地よ志海とら
 のあはるあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 神天とそんひらくしてつまひうんやう天
 と切神天と解して又まかとうとつんやう天
 らる殊勝池乃あはるゆあひするあひううは移の事
 外とそまのせんあはるあはるあはるあはるあはる
 しきまのあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 あひとまらあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 て又まのこあはるせんあはるあはるあはるあはる
 ありあはるあはるあはるあはるあはるあはるあはる
 ありあはるあはるあはるあはるあはるあはるあはる



四

三



六

いふやうなついでにのりくのかまゝにうごかされ
ころねもさるゝあつゝいふた毒さうくへた
うごもとも秋あつゝいふもいふてつゝ秋あつゝ
なれりあつゝの若さうかたすの諸のうらあつゝ
さう酸毒とあつゝいふは味を又毒業なりと
秋とちあつゝいふは味をいふは味をいふは
のうんあつゝいふは味をいふは味をいふは
秋とあつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは

咸湯宮の二百級里に西原なる大目と福強はに
とあつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは
あつゝいふは味をいふは味をいふは

生 四

徳王の寵欲のたのこましくともたつて世間の熾
 燃乃若れおしぬ天まよおそくも若好とてあつた
 して後よおふ園らごれ申はつらつとあつた繩やう
 若の流地とてハ燒身刺刺りりおさるえこれのハ乃死
 あつたひよとらんよゆつらつらおれお生らつた
 のひらひえそのつらつとれおおおのハあつた
 してあつたひよ書然としてこれとあつたひやう
 ひらつとらんやとあつたあつたあつたあつた
 して三首の牙細とておつたあつたあつたあつた
 くの念乃若れよたららあつたあつたあつたあつた
 とも及りたつとつらつとつらつとつらつとつらつと
 若れあつたひよつらつとつらつとつらつとつらつと
 あつたひよつらつとつらつとつらつとつらつとつらつと
 縁危たの中れ若れあつたあつたあつたあつたあつた
 らよふつたつらつとつらつとつらつとつらつとつらつと

侍御のゆ



生
 四
 九

とていふまゝの若くはつてせざるは海濱遺蹟の
ありくのみならず百子万劫のたまはるるに
るありたるひそめくかたうらひの命をとりぬ
てうらんとせんはうらひの命をとりぬ
ぬ海濱の秋乃月をいづれか
とていふまゝの若くはつてせざるは海濱遺蹟の
ありくのみならず百子万劫のたまはるるに
るありたるひそめくかたうらひの命をとりぬ
てうらんとせんはうらひの命をとりぬ
ぬ海濱の秋乃月をいづれか

つくりしつゝのむらび法はなほなりけれは
三男乃らふあつてはたのびのあつてはたのび
勢力のあつても世をいさむるあつても
つくりしつゝのむらび法はなほなりけれは
三男乃らふあつてはたのびのあつてはたのび
勢力のあつても世をいさむるあつても
つくりしつゝのむらび法はなほなりけれは
三男乃らふあつてはたのびのあつてはたのび
勢力のあつても世をいさむるあつても

